

6 本時の学習（第二次 26 / 30時）

(1) ねらい

訪問活動で行う活動がお年よりを意識した活動になっているかを話し合うことを通して、自他の取り組みを見直し、お年よりと心をつなぐことについての考えを深めることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (指 導 評 価)
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> お年よりともっと心をつなごう </div> <p>1 お年よりと心をつなぐために考えた活動について話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>ぼくは将棋が大好きだよ。いつもぼくは将棋を持っていくけど、おじいさんと一緒に将棋をしたことがない。おじいさんに楽しんでもらえるようにルールの簡単なはさみ将棋を楽しみたい。きっと笑顔になって心がつながると思う。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>お年よりに絵を描いてあげたり、指人形を作ってあげたりしたら喜んでくれたから、もう心がつながったよ。だから、前と違うお年よりと話をしたい。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>自分が好きなことや得意なことを進んで教えてあげようと思っているなんて、さすが さんだね。</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>私は将棋が分からないから、お年よりの中にも難しいと思う人がいるのではないかな。</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>私も絵を描いたけど、お年よりがどう思っているか分からないから、心はつながっていないし。</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>ぼくもプレゼントを作って、心をつなぎたい。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>私が将棋をした時、お年よりはあまり楽しそうではなかった。自分が好きなことではなくて、お年よりが得意なことや好きなことしたら、喜んでもらえるのではないかな</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>何も話さないでプレゼントを作っているだけでは、心がつながったとは言えない。渡す時に声をかけたり、お年よりと一緒に折ったりしたらいいし。</p> </div> </div> <p>2 話し合いをして、自分が考えたことを意識しながら、もっと心をつなげる活動になるように、グループで互いの取り組みを見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コリントゲームの説明をする時、「もう少しゆっくり話したらいいよ」とアドバイスされたので、話す速さを考えよう。 ・ プレゼントは次のふれあいたいまでに準備して、チューリップ苑に着いたら、おばあちゃんとたくさん話せるようにしたい。もう一回自己紹介をしようかな。 <p>3 今日の活動の感想を書く。</p>	<p>心のつながりを示す「心の線」を掲示したり、具体物を取り上げたり、身体表現を取り上げたりすることによって、発表する子供の思いを引き出す。</p> <p>発表する子供に活動時の様子を詳しく語らせたり、身体表現させたりして、他の子供たちが活動状況を共有し、話し合いに進んでかかわっていくことができるようにする。</p> <p>一人一人が考えた活動への願いを板書に位置づけながら、「お年よりはみんなとどんなことをしたいのかな」と問いかけることによって、お年よりを意識した活動になっているかを見直すように促したい。</p> <p>かかわる相手を変えようとしている子供には、その理由をはっきり話させ、「心をつなぐ」ことについて自覚できるようにする。</p> <p>お年よりの気持ちに寄り添って、活動を考えている子供の意見を取り上げることによって、相手を意識した内容になっているかを吟味させていきたい。</p> <p>グループ活動時には、お年よりの立場で友達の活動にアドバイスするように声をかけをする。</p> <p>話し合いを通して、お年よりともっと心をつなぐ活動になるように、自他の取り組みを見直すことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(行 動 、 発 言 、 カ ー ド)</p>

(3) 本時の視点

訪問活動で行う活動がお年よりを意識した活動になっているかを話し合うことを通して、自他の取り組みを見直し、お年よりと心をつなぐことについての考えを深めるための教師の発問や板書の構成は適切であったか。